

謹賀新年



常陸大宮市長 三 次 真一郎

あけましておめでとうございませす。皆様には、平成23年の輝かしい新春をご家族お揃いで健やかに迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。年頭にあたり新年を迎えての思いを述べさせていただきます。

はじめに、公共交通システムの更なる整備を図ります。中でも昨年から市内全域を対象に運行開始したデマンド型交通システム（乗合タクシー）につきましては、利用者の意見を聞きながら、最善のシステムに構築してまいります。

合併時の最大の目玉でありました常陸大宮済生会病院ですが、これまで順調な運営がなされており、地域医療の充実に大きな役割を果たしていただいております。しかし、医師確保が大きな課題となってきました。そこで、市内の公的医療機関での地域医療を担う人材を確保する目的で「常陸大宮市医師確保基金」を創設し、医学を履修する学生に対し修学資金を貸与し、市の地域医療をさらに万全なものにしていきたいと思っております。

鮎の漁獲量が日本1位、2位の那珂川と久慈川の水産資源を特産品に

開発する目的で「二川（2000）愛ある特産品づくり事業」を実施しております。これまでに何点かの試作品ができあがりましたが、今年は商品化に向けて取り組んでまいります。

昨年、御前山地域の岡原遺跡から、県内最古級となる約8000年前の縄文時代の住居跡が発掘され、古から多くの先人が当市に住んでいたことがわかりました。郷土を愛する心を育て、この地に生まれ任んで良かったと思えるようなまちづくりを、新しい時代を生きぬく郷育立市事業とあわせて実施してまいります。

昨年12月、宮の郷工業団地に木材流通センターと八溝多賀木材乾燥施設が完成しました。山林が約6割を占める当市にとっては、森林資源が大いに活用され、林業の発展に結びつくことと大きな期待を寄せています。このような中で、平成23年度から住宅リフォーム補助事業を新たに創設し、さらなる市内林産材の活用を図ってまいります。

市内には動植物を含め、外来種が多く入ってきており、日本古来の生態系に悪影響を及ぼしています。手遅れにならないように、まずセイタカアワダチソウを市内から一掃し、秋には日本の原風景を蘇らせる運動を市民の皆様のお力をお借りして広げていきたいと思っております。

結びに、新年が市民の皆様にとって、幸多い年になることを心からご祈念し、新年のあいさついたします。

二〇二一年 卯



常陸大宮市議会議長
仲田好一

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい希望に満ちた新春を健やかに迎えることと、心からお慶び申し上げます。

昨年は、本市においては、3月に農業委員、7月に市議会議員・参議院議員、12月には県議会議員のそれぞれの選挙が行われ、選挙に始まり選挙に終わる一年でした。

国内では、「円高・株安・デフレ」が恒常化し、経済や雇用に深刻な悪影響をもたらしました。また、尖閣諸島沖での中国漁船による衝突事件やロシア大統領の突然の国後島訪問、北朝鮮による韓国への大規模攻撃など、これまでにない深刻な事件が続発しました。これに対し、政府の危機管理や国の安全保障に対する認識の甘さが露呈し、国民は大きな不安と失望を抱き、現政権は国民の信頼を失う結果となりました。それとともに、国の安全保障や外交について、国民がこれまでになく真剣に考える大きなきっかけとなる年となりました。

一方、地方においては、名古屋市や阿久根市などに見られる首長と議

会による対立と混乱により、住民を巻き込んだ双方のリコール合戦や出直し選挙が行われることになり、地方議会の根幹をなす二元代表制を脅かす事態となりました。

本市におきましては、急速な少子高齢化の中、子ども達の健全な成長と教育環境の改善を図るため、昨年4月、小学校の統廃合が行なわれました。また、「予約制乗合タクシー」が、市内全域で運行が開始され、交通手段の確保がより一層推進されました。

我々市議会は、昨年8月、議員22人（4人減）で新たにスタートいたしました。

昨年9月の議会では、「行財政改革推進特別委員会」を設置し、本市の将来を見据え、また限られた財源の下、より効率的、効果的な行政を目指し、努力しているところであり

ます。今後、地域主権が求められる中、市議会の果たすべき役割と責任、重要性は益々増大しております。その責務を果たすため、我々議員が不断の努力を重ね、資質を高め、議会改革に努め、更に市民の負託に応え得る議会を目指し、全力で取り組んでいく決意でございます。市民の皆様

の更なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。結びに、常陸大宮市の限らない繁栄と本年が皆様にとって幸多く、飛躍の年となりますことを心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。